

2023. 9. 24(일) / 충청남도 부여군 (롯데리조트)



写真提供: 忠清南道



奈良から世界へ 世界から奈良へ

結ぶ友好の絆 広がる未来

vol.2

충청남도

韩国 忠清南道(ちゅうせいなんどう)

平成23(2011)年10月締結

奈良は、古代よりシルクロードを通して中国大陸や韓半島、遠くは中央アジアなどと交流があり、国際性豊かな歴史を誇ります。県では、こうしたつながりを活かし、中国、韓国、スイス、ウズベキスタン、ベトナムの5つの地方政府と友好提携を結ぶなど、さまざまな国際交流事業を展開し、青少年を中心とした国際感覚の養成や、インバウンド・外国人材の受け入れなど地域の活性化に取り組んでいます。

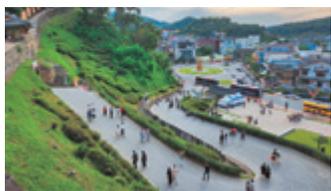
今回は、第2回目として、平成23(2011)年10月に友好提携を結んだ、韓国・忠清南道との交流をご紹介します。

奈良とのつながり

飛鳥の地に都があった時代、百濟(現在の忠清南道の公州市内や扶余郡内に都が置かれた)を含む韓半島から、多くの渡来人が来訪し、さまざまな文化や技術をわが国へもたらしました。漢字や仏教なども百濟から伝えられ、日本最初の本格的伽藍の寺院「飛鳥寺」も、百濟から派遣された僧侶や技術者の協力により、創建されたといわれています。

また、百濟滅亡後、その復興を目指し、旧百濟と日本の連合軍が663年に唐・新羅連合軍と戦いましたが(白村江の戦い)、大敗し、戦後、多くの百濟人がわが国に亡命、幅広い分野で活躍しました。

石上神宮(天理市)で所蔵されている国宝の七支刀は、4世紀に百濟から送られたものとされており、さらに古くから交流があったことがうかがえます。



写真提供: 忠清南道

忠清南道はこんな所

韓半島の中央部の西側に位置している忠清南道は、百濟の都・熊津や泗沘が置かれた地で、道内には公山城や武寧王陵に代表される宋山里古墳群、定林寺址などの歴史文化遺産から構成される世界遺産「百濟歴史遺跡地区」があります。また、産業面では、サムスンやヒュンダイなど世界的企業の工場も立地しています。

このほか、高麗人参や韓牛の生産など農業が盛んで、西側は黄海に面しており、ノリの養殖など水産業も盛んです。忠清南道舒川郡の干潟は「韓国の干潟」として世界遺産に登録されています。



写真提供: 忠清南道



写真提供: 忠清南道



これまでの主な交流

忠清南道で開催されるイベントへのブース出展や駐日韓国大使館など3者で共催した文化イベントの県内での開催、高校生や大学生などによる人的交流を進めてきました。具体的には、一昨年9月に、「大百濟典」に出展し、「飛鳥・藤原の宮都」の世界遺産登録に向けたPRなどを行ったほか、昨年8月には、県内の高校生が忠清南道を訪問し、現地高校生とe-スポーツの分野で交流しました。

